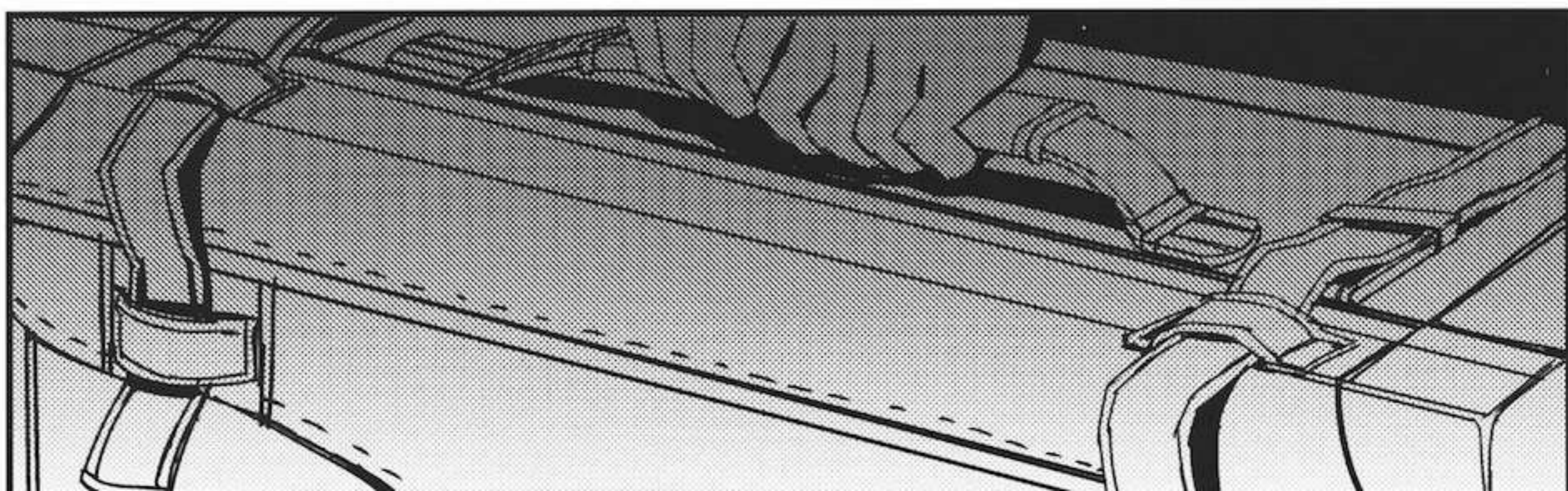
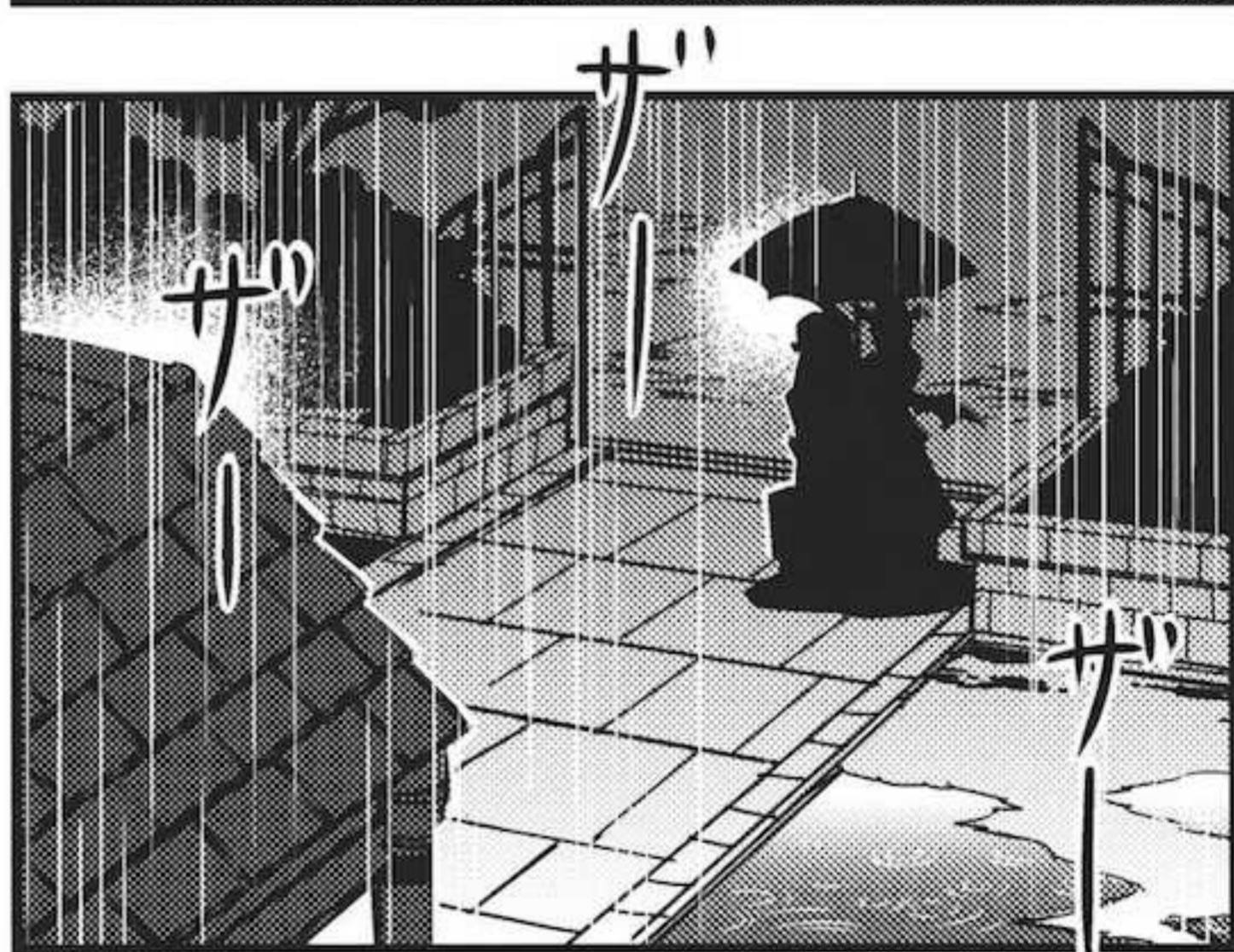
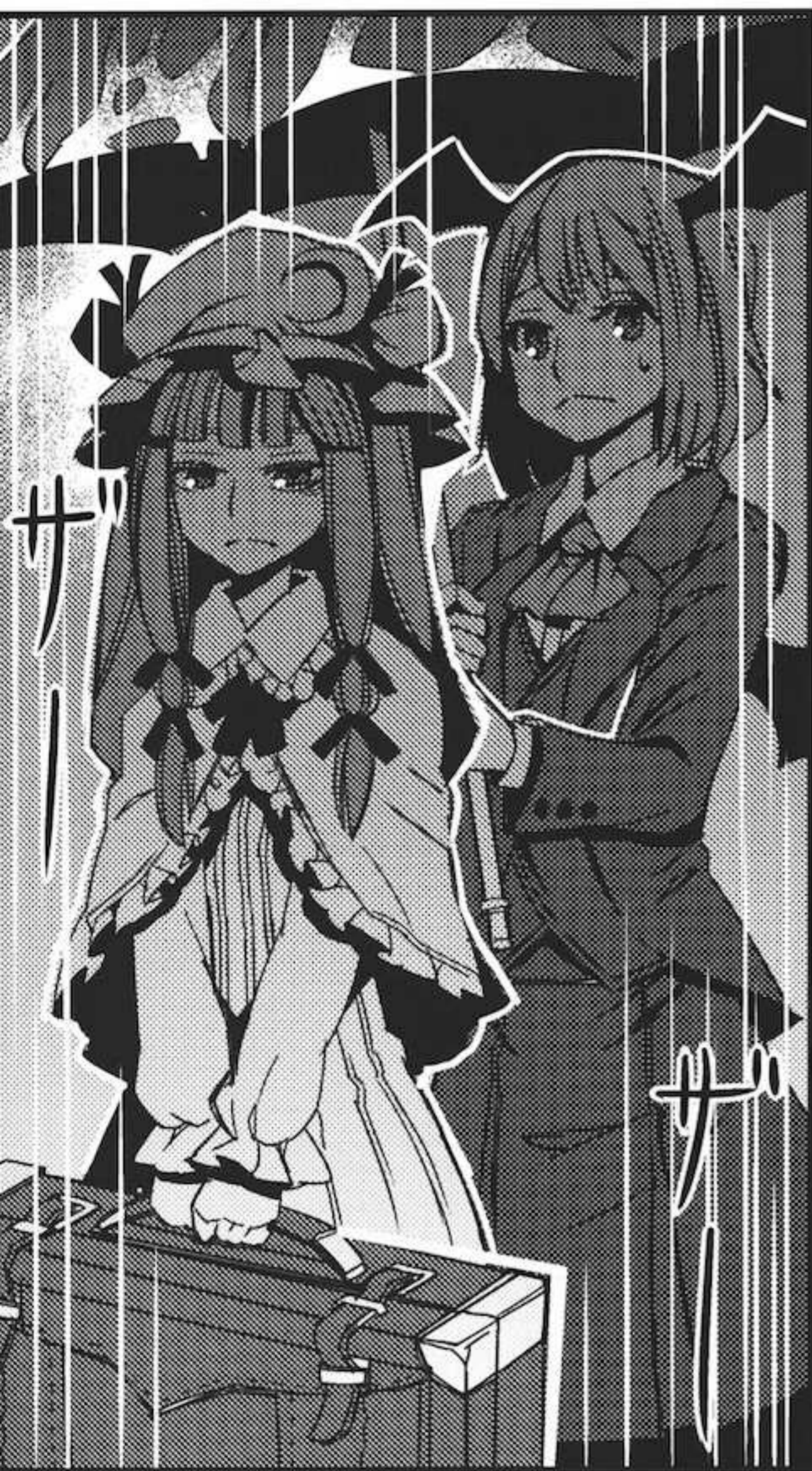


VINTAGE



この漫画は
東方Projectの
二次創作作品です





カルコとブリーナ

シドの白人形

花田の誤算



どれも大図書館の目録にも
載せてない秘蔵の
グリモワールよ



胎盤オルゴラル

大久保の傀儡師

さらに私の
ゴーレムの研究成果も
譲渡するわ

美味し過ぎて
胃もたれしそうな
条件ね…

何が狙いなの？

義足を

作って欲しいの

07

義足？

？



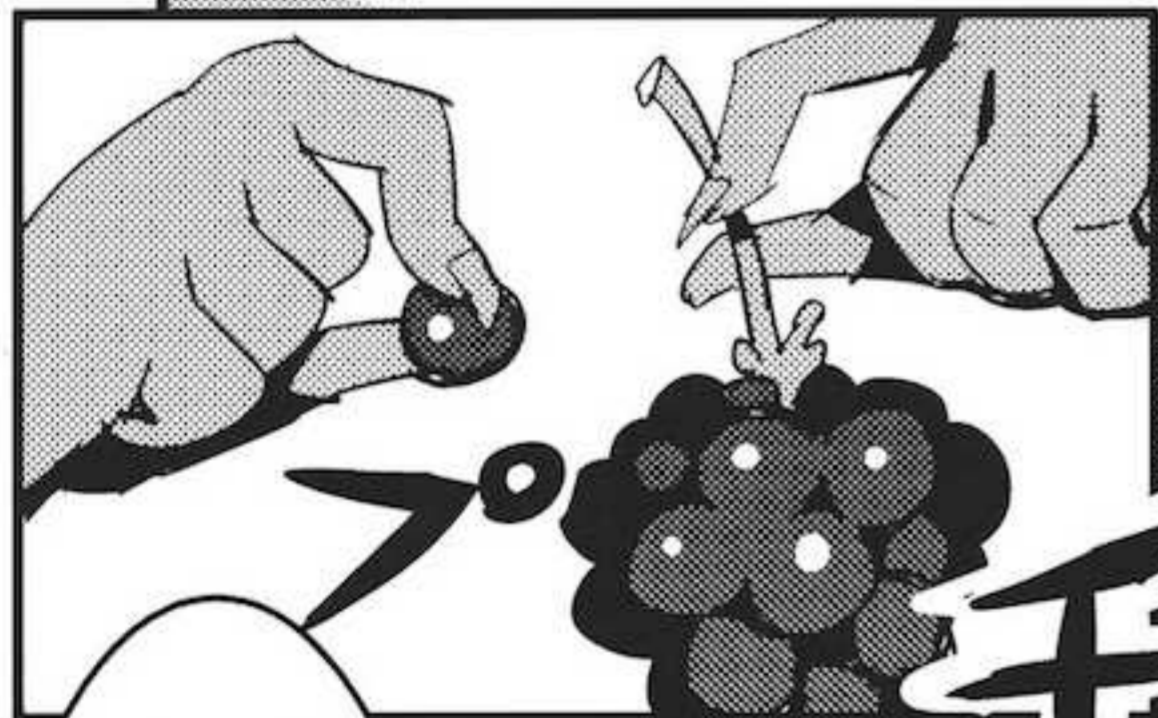
十六夜咲夜の

義足



VINTAGE





はしゃいじゃって
まあ…



貴方も少し落ち着いたら
どうかしら レミィ?

毎年の事だけど
私達までワインの
ぶどう踏みをやる必要なんて
無いでしょう？

需要が有るのよ
アレだって財源の一旦なんだよ
居候君？

昨日遠出したせいで
疲れてるんだけど

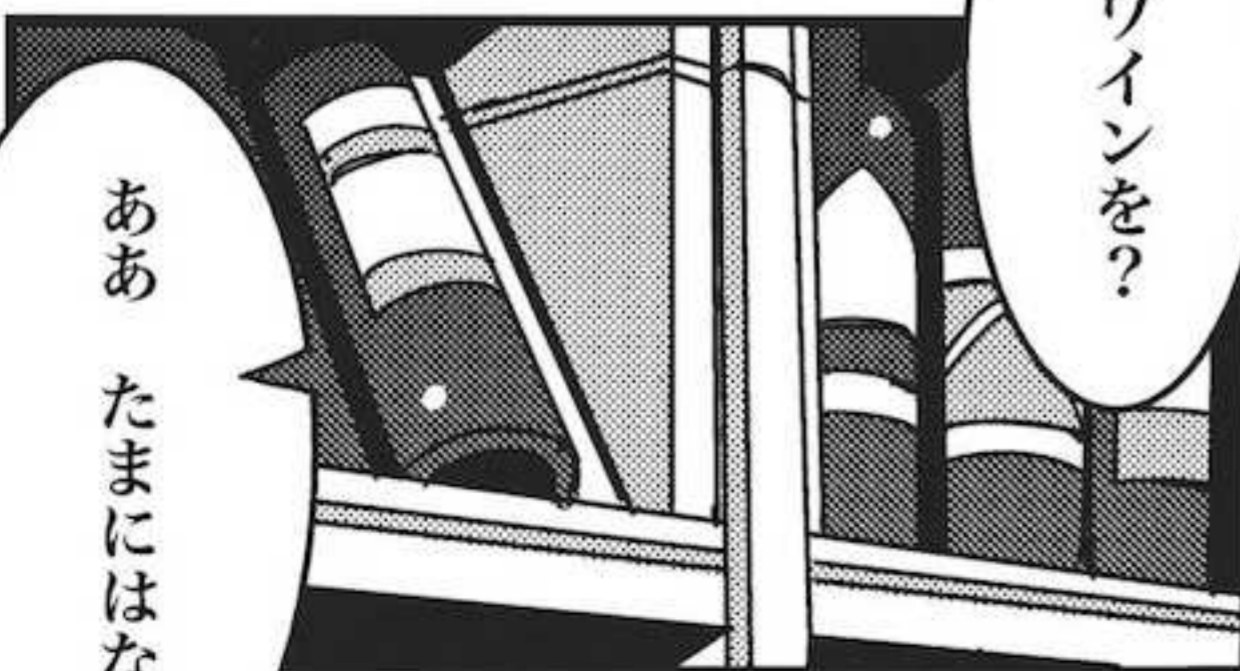
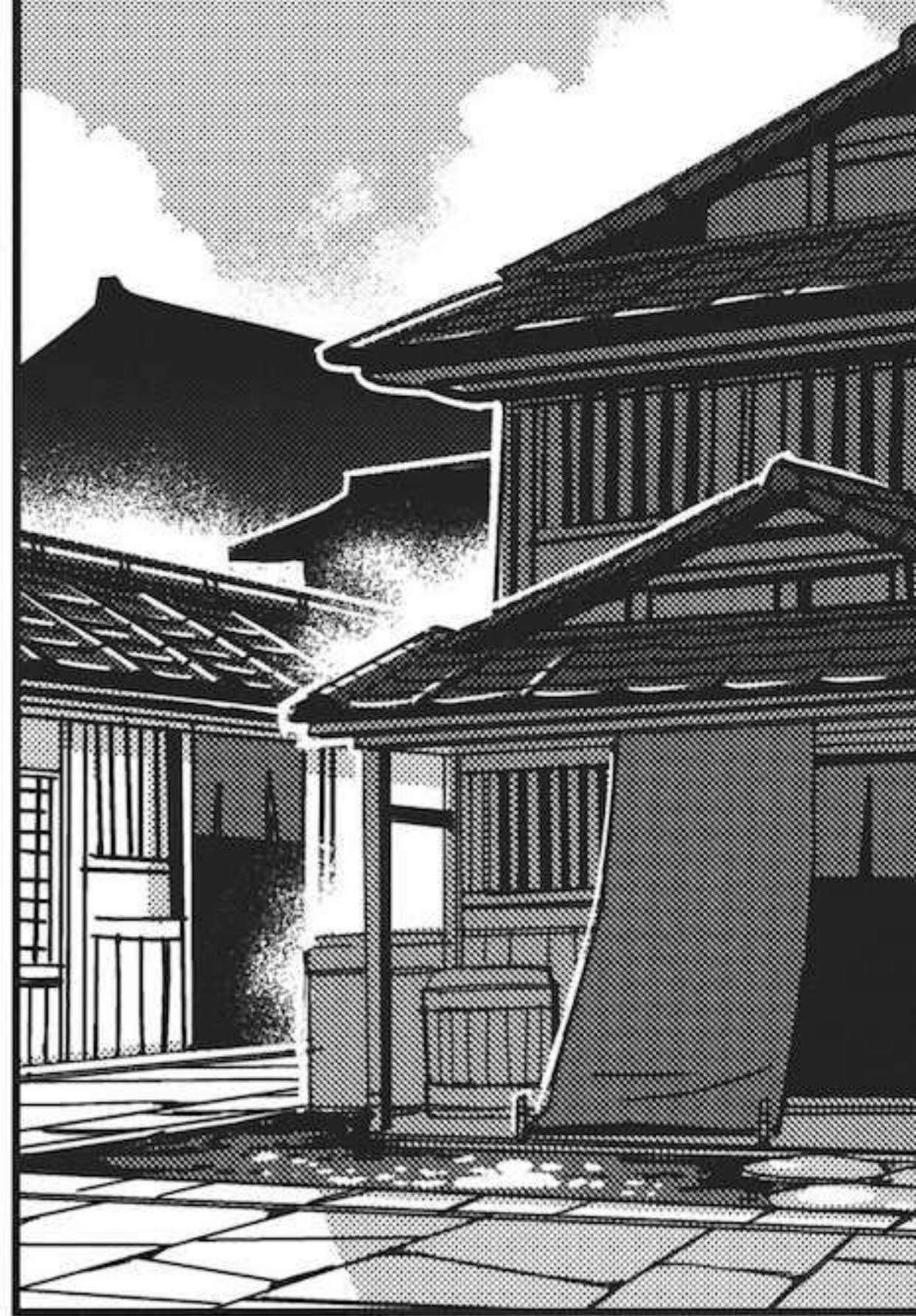
あーん
我慢なさい

咲夜が参加できないのだから
その分も頑張ってもらわないとね

まったく

誰のせいで
そうなったと
思ってるのよ







とはいっても馴染みが無いからな
どれを選べば良いか？
阿求はよく飲むのか？

ええ

なら紅魔館産の
プレミアムシリーズ
なんていかがですか？

プレミアム？

館勤めのメイド達が
作った大量生産品
とは別に

主要な住人達が
作った特別品の
事です

紅美鈴さんののは

芳醇なブドウの香りを

残した豊かな風味

料理やシーンを
選ばず飲めます



メイド長の咲夜さんの

ワインは鋭い切れ味が特徴

お肉料理に

良く合います



館の主自ら作った高級ワイン

若い荒々しさと重厚な重みを

兼ね備えた逸品です

ワインそのものを

味わう場合に良いですね

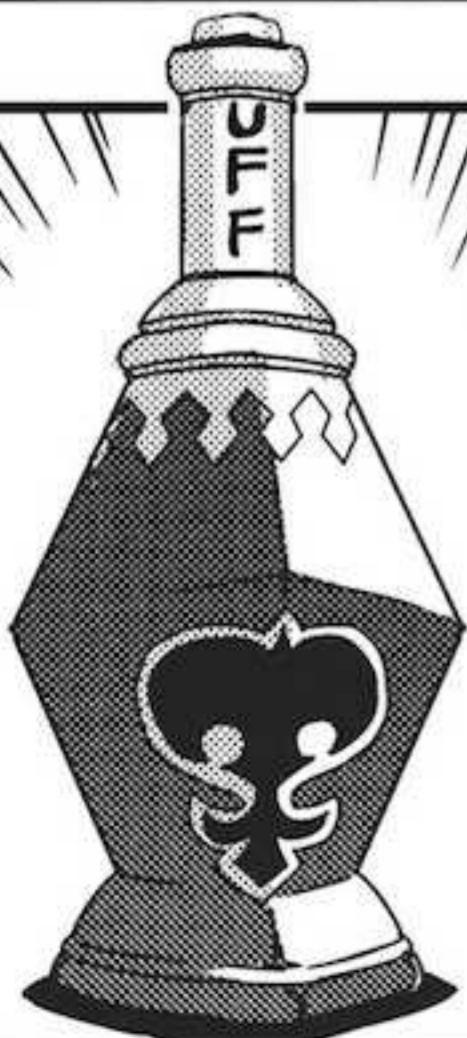


普段は姿を見せない主の妹君が

作ったとされるワイン

ワインなのに何故か乳臭いと

一部の客層に大評判です





そして激レア！
年に数本出るか出ないか！
大図書館の魔女特製の一本！

味の方はカビ臭くて
飲めたもんじゃねえですけど
その希少性から
超高額で取引されています！



いや…まあ…

参考に
させてもらうよ…



ワインねえ
あいつらそんな事も
やってるのね…

そういえば妹紅も
面識が有ったな


うん
「肝試し」の時にね…



咲夜も不老不死に
なってみない？

そうすればずっと
一緒に居られるよ





私は一生死ぬ人間ですよ



大丈夫



生きている間は
一緒に居ますから



.....





これはまた…

ちよんぱー

綺麗さっぱり
無くなっちゃったわね…



悪いわね
アリス

色々とお世話に
なっちゃうけど…



ええ
お陰様でダイエット
大成功ですわ！

趣味の悪い冗談なこと



良いのよ

報酬は十分すぎる程貰ったしね

それよりも思ったより
元気そうで安心したわ



元気…か

正直言うと

それでも

ないのよ…

絶対安静のせいで
お嬢様のお世話が
できなくて…

一日に定量の
おぜうさまポイントが
無いと
突発的な目眩
動悸不全
手の痙攣が…!

うん
思ったより
全然ビョーキだわ

それじゃあ できるだけ早く
義足を仕上げる様にするわ

お願いするわね

いいえ
これは美鈴に
やってもらったのよ

あの門番の子が!?

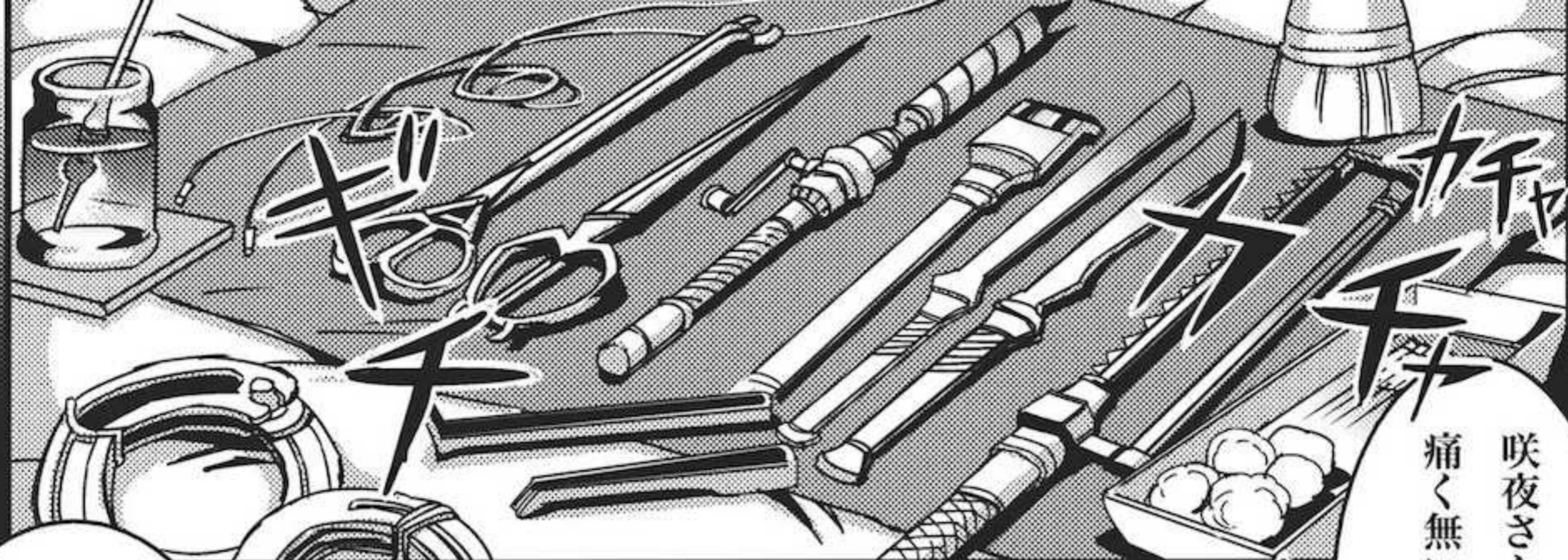
それにしても
見事な縫合跡
だったわね

やっぱり
永遠亭で?

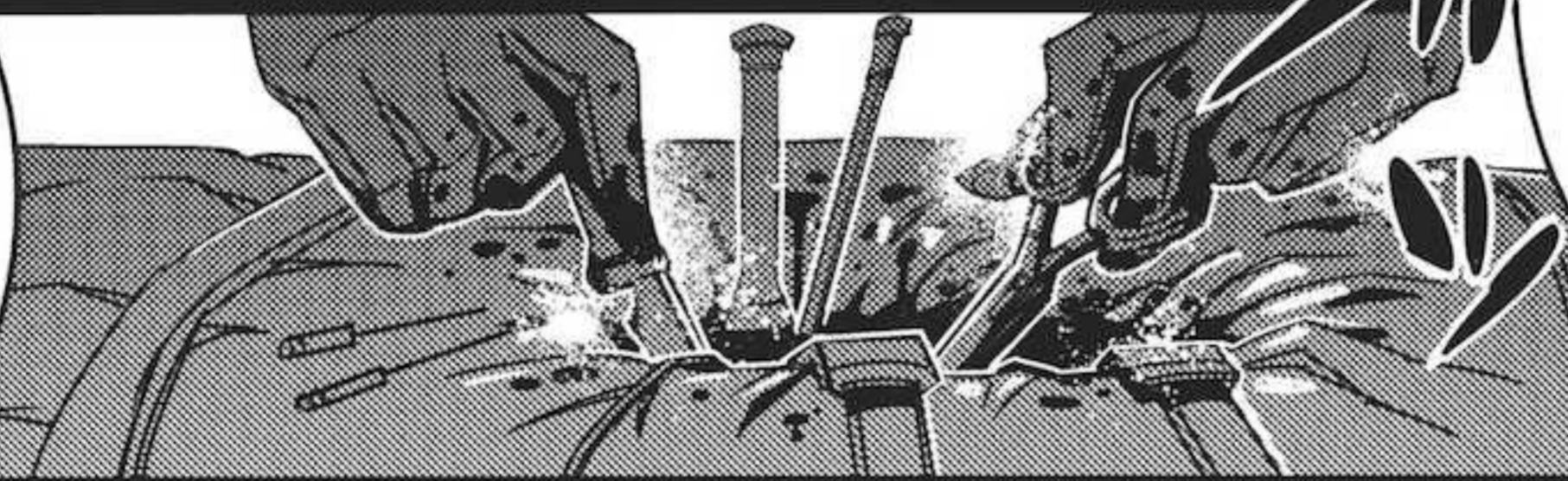
ええ

さいしよ
切断から

縫合まで…



咲夜さん
痛く無いですかー？



全くもって
うっかりすると
寝ちやいそうだわ…

そうした方が良いと思いますけどねー
なんでわざわざ局部麻酔なんかで？

人生の一大イベントよ
寝てたら損じゃない

しかし随分と本格的な
術式をするのね

貴方の事だから
青龍刀で一太刀！

とかするものだ…

酷い偏見だ!?

相変わらず
良くわからない事
言いますね

……
もう何を言っても
遅いですけど 本当に
良かったんですか？

脚を喪うって事は運動機能の喪失だけじゃ済みません



血流の阻害

免疫の減衰

神経系の迷走

私風に言えば
莫大な「気」
を喪うって事です

そうならば只でさえ
短い人間の寿命に…

美鈴

…ありがとう

でもこれは
お嬢様が望んだ事なの

ねえ

わかるでしょう？



それにしても
さんざん人間を捌いてきた
私が まさか捌かれる側に
なるとはね

そうでしたね…



因果応報って
やつですね

かもね



私に人間の捌き方を教えてくれた
貴方ですもの

巧い事やってくれて
いるのでしょう？



まあでも
不安は無いわ



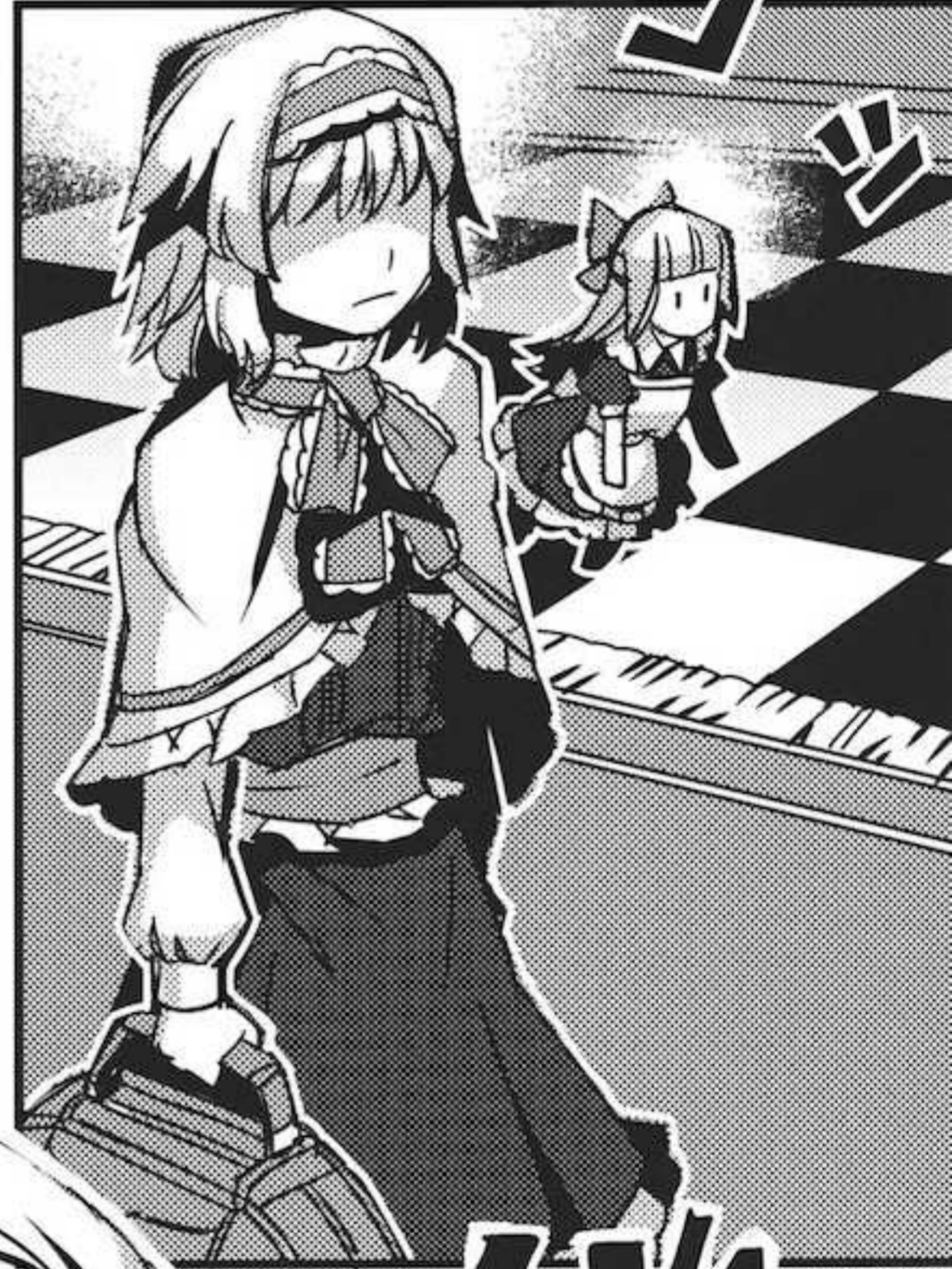
ところで ちょっと
つまみ食いしちゃ
駄目ですか？

おさし
み？



駄目に
決まってるでしょ！





おや？
もうお帰りかな？





咲夜の恩人様だ

盛大にお持て成しを
するつもりだったんだけど…



咲夜が動けない様じゃ
碌な持て成しも
期待できないし

結構よ



何より

今は貴方の顔を
見たく無いの

うん？

何か気に触る様な
事をしたかしら？



咲夜から
聞いたわ

彼女が脚を
失った理由…



貴方が……!



旨そうだから



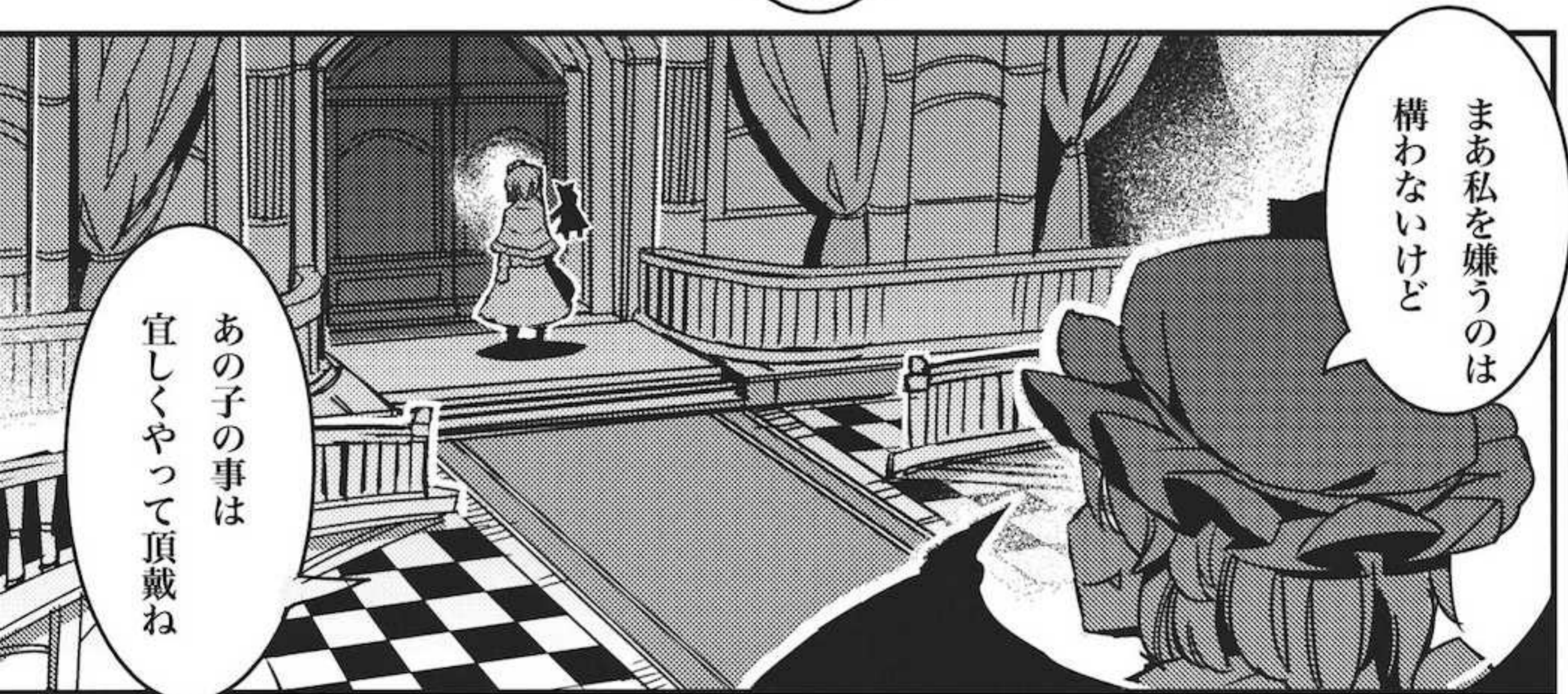
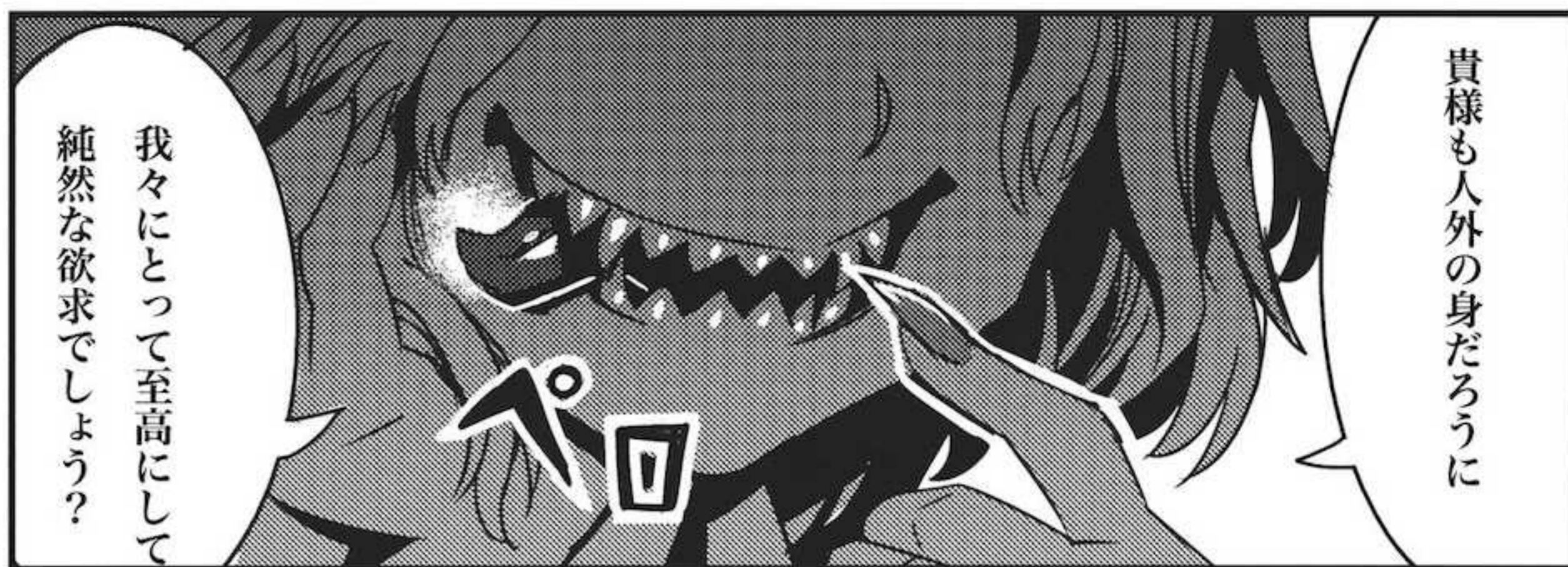
寄越せと言った

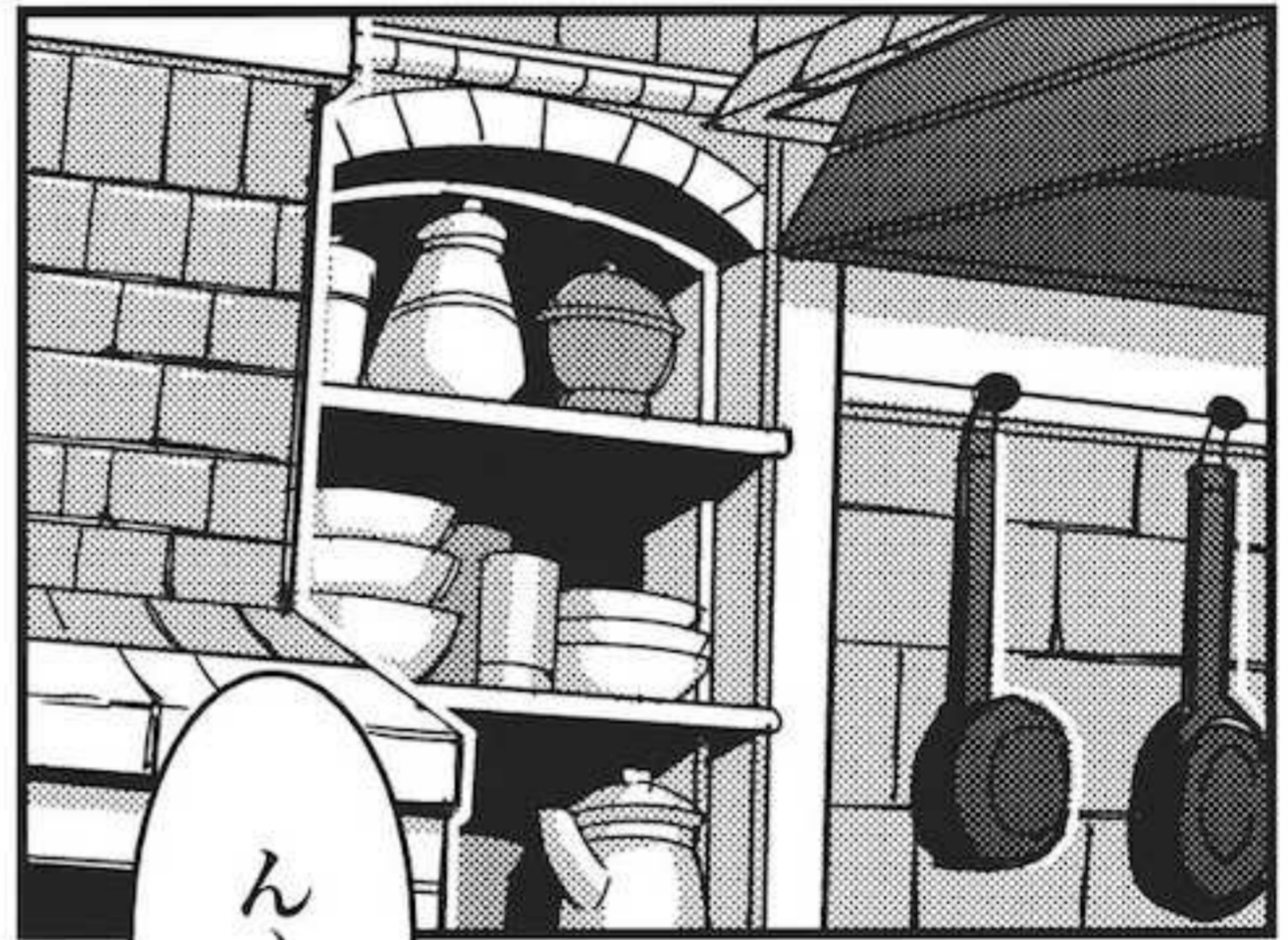


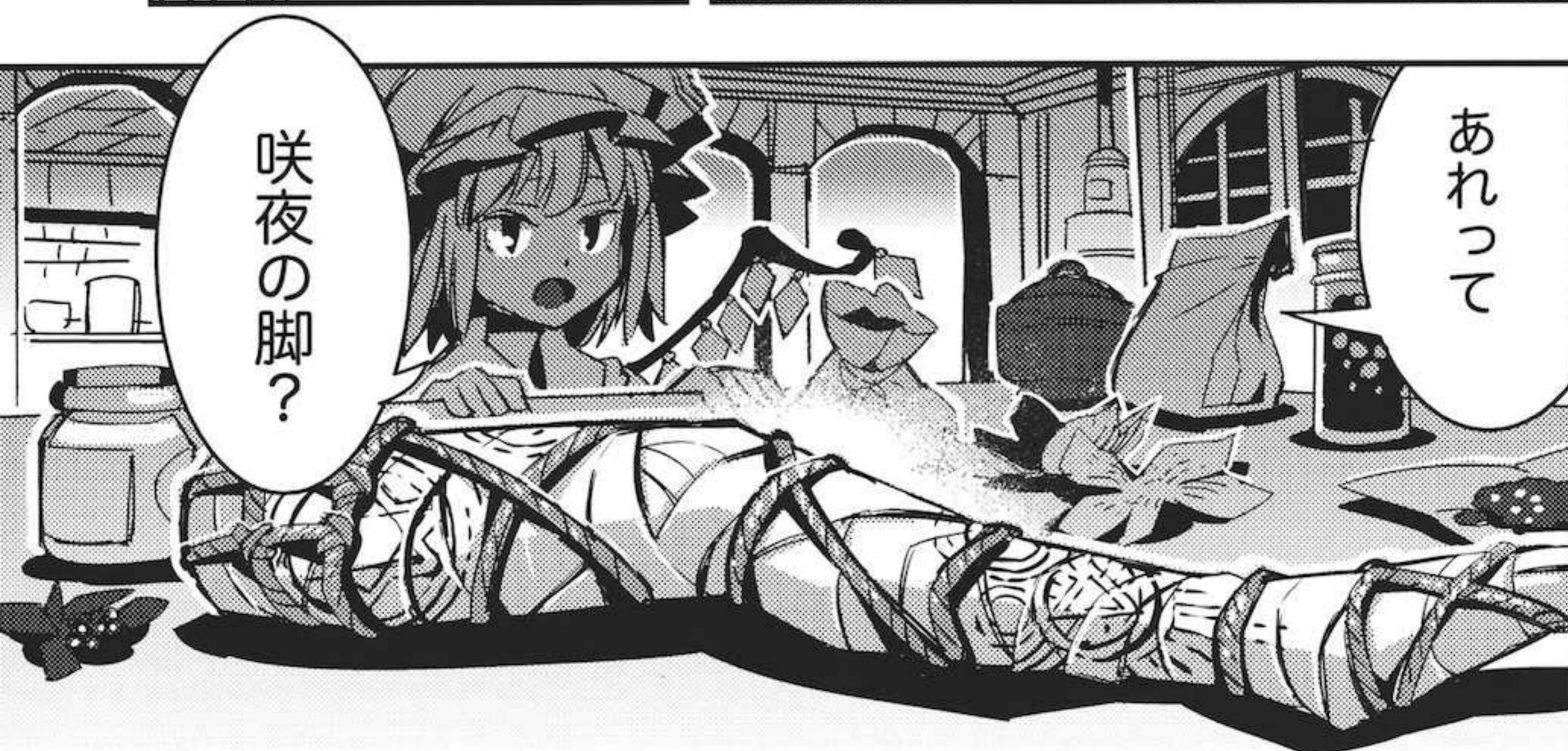
それに



何か文句でも?









フランね
にんにく料理大好きだよ！

え!?



そうですよ
お嬢様のリクエストでね

これから干肉にするんです



大蒜厳禁なのが
残念ですけど

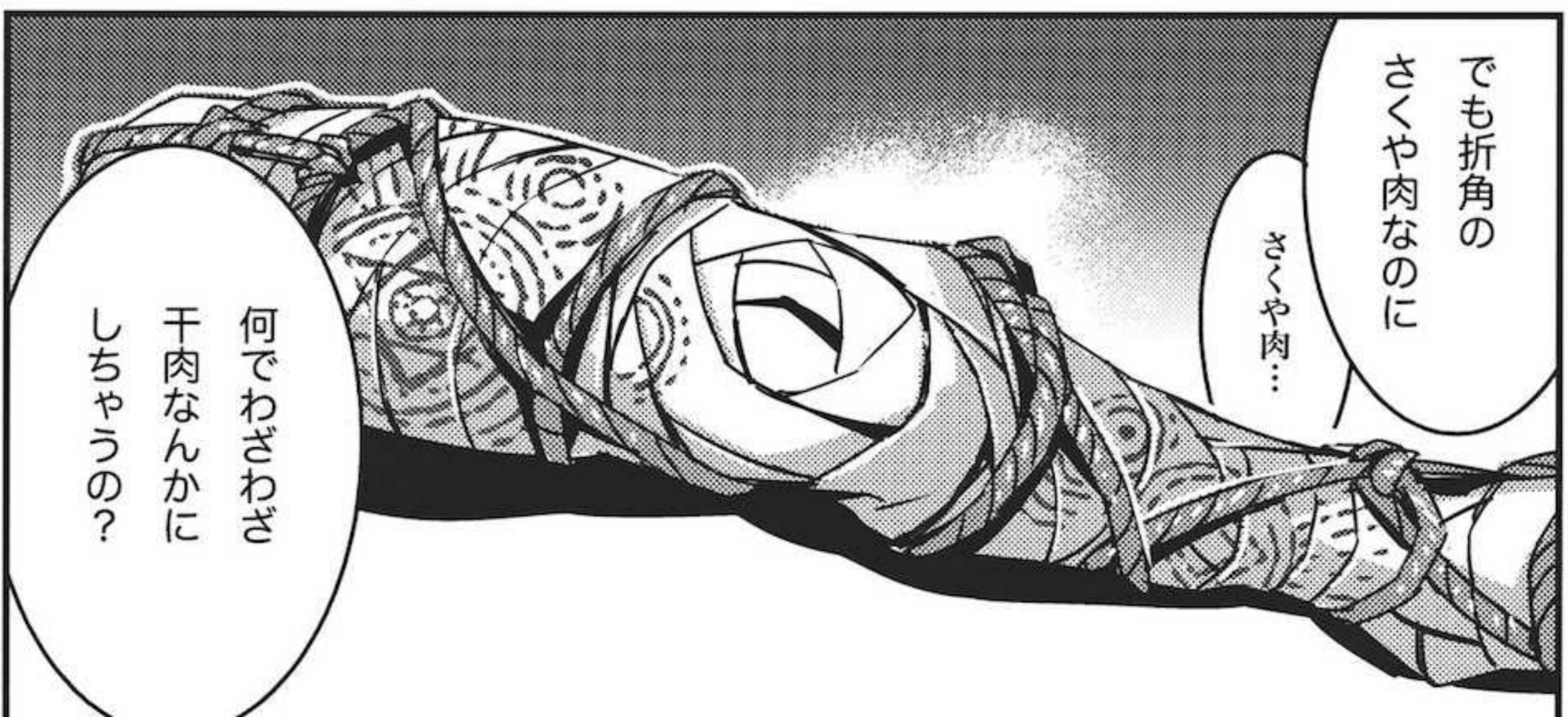
にんにく！



それって
拒否反応なんじゃ？

食べると口とか
お腹の中が
ジューワー！ってして
刺激的なの！

前に咲夜に作って
もらったんだけどね



でも折角の
さくや肉なのに

さくや肉…

何でわざわざ
干肉なんか
しちゃうの？





いやー
ケツサクだったわ!

ちよつとからかっただけで
血相を変えて睨んでくるの!



まあ中々の
メンチ切りだったけど…

あんたの後輩殿も
まだまだだねえ…



レミィ

うん?



あの子の事

本当に
あれで良かったのね?



ふん
良いんだよ

キリッ

ギュ...

そもそも
あいつが悪いんだ...



メイドのくせに
あんな短いスカート
はきやがって

しかもあの
タケで
ドロワ
だし!!

そりゃあ
かぶりつきたく
なるって物さ!

ドボン
ドボン

私の理解できる言葉を
使ってくれないかしら?

最近 似てきたわよ

あなた達

まおせう
さま
お茶(毒)の
時間
ですわ

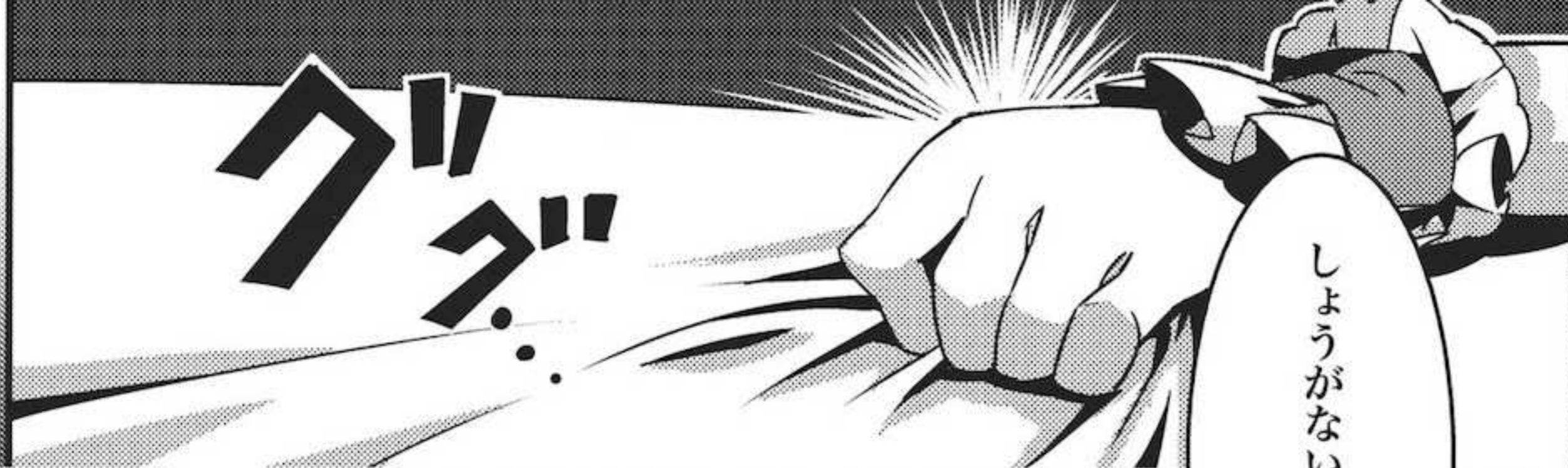


私が聞きたいのはね

あなたが下した

「決断」の話





しょうがないじゃないか

それでも



もうこれは答えの出ている話なんだ

確かにあの時



あいつの最初で

…多分最後の我俣だ

私達は約束した筈なのだ



飼犬の我俣を
聞いてやるのも
主人の務めさ



永遠の 忠誠を



はい

連結
できたわよ

ある程度は
自分の意志で
動かせる筈だから

さあ

立ってみて

キイ



くる





なじむ

実に！

なじみますわ！

そ
そう…

何かしら

今の動きと

このテンションは

最高に
ハイ！で
やっね！！



どういたしました

今後とも実働データは
取らせてもらおうけどね



どうもありがとう
アリス



それじゃあ
テストも兼ねて…

ちよつと
体を動かさない？



パチュリー様も
色々と工面して
いただいたとか…

良いのよ
あなたが動けないと
碌な紅茶も飲めないし

美鈴にも随分
お世話になったわね

いえいえ！



やっぱり体を動かせるのは
嬉しいものね

養療だなんて暇で暇で
逆に体調崩しそうだったわ

いつもなら
いくら時を止めても
足りないくらいなのよね

.....

折角のお人形
みたいな顔が
台無し

.....
眉間の皺



病み上がりを
こんな所まで連れ出して

何か言いたい事が
有るのでしょう？

.....
本当はね

.....
本当はそんな物
作りたくは無かったの

それでも作って
しまったのは
人形師としての
矜持と興味のせい

.....
私自身は納得
していないわ



幻滅したわ

そんな事をした
レミリアにも

それを受け入れた
貴方にも



私は部外者だけど
貴方達の関係は
好ましく思っていたわ

とてもこんな事を
する様には見えなかった

こんな趣味の悪い
冗談みたいな事を！

ゼッ

アリス…

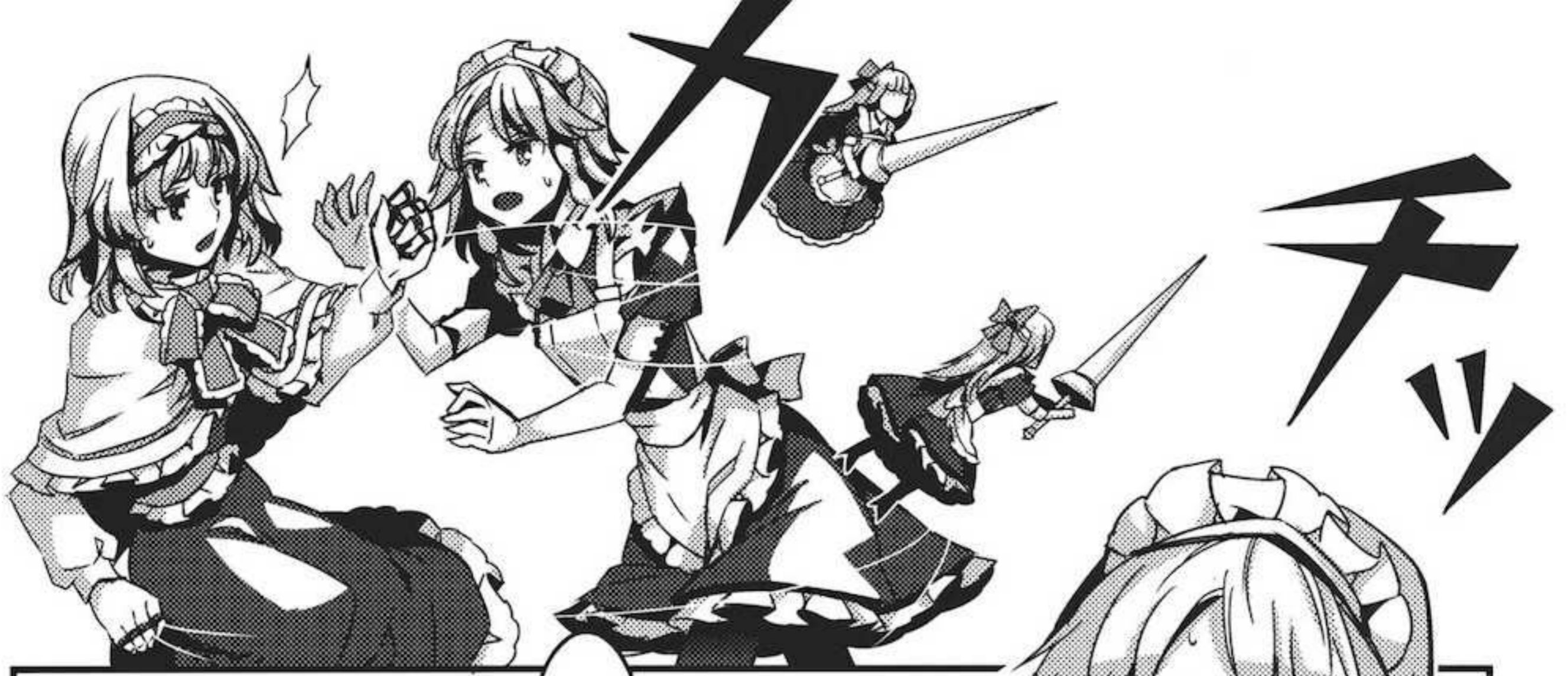
たったこれっぽっちの
運動すら難儀したでしょう？

人形にも押し負けるのが
今の貴方なのよ

この結果すら享受するのが
貴方の忠誠心なの!!

だとしたら…

アリス！



天ッ



違うわ
違うのよ



お嬢様はね
こうおっしゃったの



ああ
咲夜

おまえの脚
干物にする事にしたから

はあ…?
なんでまた
急にそんな事を

急がなきゃ
駄目なのよ

だって人間ってすぐに歳をとるでしょう?



ヨボヨボの肉なんて
食べたく無いからね

今のうちにやって
おかないとさ...



貴方達と違って
人間の時間は
これっぽっち



あつという間に衰え
あの方の前から居なくなるわ



永遠の誓いを破ってね

でもお嬢様は
それを認めて下さった

これはその証なの

私は一生

死ぬ人間でいられるのよ



お待ちせいたしました



美鈴特製

咲夜の干肉ですわ



うん

ご苦労!



いいえ

さっそく食べるの?



美鈴もご苦労だった

ふふ

自信作ですよ!

もう何年前になるかしら

咲夜がここに来て
初めて作ったワイン

とってあるでしょう？

あれと一緒に

大事に寝かせておくわ…

だれかさんがとつとと
居なくなっちゃって

それが思い出に変わる頃

そうしたら
一緒にいただくの

きつと素敵な味に
仕上がってるわよ



それに これだけは
例えフランにだって
分けないから!



奥付

東方Project Fanbook

VINTAGE

2012年08月11日
コミックマーケット 82 発行

原作 上海アリス幻楽団 様
印刷 栄光印刷 様

サークル 薬味さらい/ゾウノセ
<http://zounose.jugem.jp/>
pixivID 2622803
mail zounose@gmail.com

あとがき

4冊目になります、ゾウノセです。
お読みいただき恐悦至極に存じます！

東方二次創作で恐らく一、二を争う頻度で
ネタになってるであろう
咲夜さんの寿命に関する本でした。
やっぱり一度は描いておきたいですよ。

今回、アリスには狂言回しに徹して
もらったのですが、そのせいか変に
お行儀の良いキャラになってしまったのが
心残りです。

ではでは。紅楼夢には参加できないので
次はいつになるか判りませんが
またお会いできれば！

従者(?)の皆さんに聞きました
貴方だったらどうしますか？





Touhou Project
Fan Book

VINTAGE

Presented By

Yakumi-Sarai

2012.08.11